

「地域主体のバスを走らせ続ける」



運行概要

運行経路：スーパーサンシ～東垂坂～垂坂公会堂～大谷台～
 いかるが～別名～四日市羽津医療センター～羽津
 郵便局前～かすみがうら駅

運行日：月～金曜日（祝日も運行）

運行本数：1日4本運行

運賃：1乗車100円

NPO法人生活バス四日市理事長


西脇 良孝さん

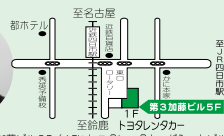
平成15年4月から本格的に運行を開始した「生活バスよっかいち」。その運行主体であるNPO法人生活バス四日市の理事長を務める西脇良孝さんにお話を伺いました。

「こんなとき、どうすれば…？」お早めにお電話でご予約ください！ ☎059-350-2080

近鉄四日市駅から
徒歩1分！
南改札口(東口)すぐ！

<p>交通事故</p> <p>「事故にあい、治療中ですがこれからどうすれば…？」 「後遺症の認定が非該当でした」</p>	<p>相続・遺言</p> <p>「遺産のことで兄弟でもめています…」 「遺留分とは何ですか？」</p>	<p>不動産・建築</p> <p>契約書のことや 建物の欠陥のことなど</p>	<p>◆交通事故(被害者)のご相談は無料◆</p> <p>その他の法律相談(初回)は30分5,500円(税込)ですが初回相談でご納得頂けなかった場合には無料とさせていただきます。</p> <p>「まずは一度ご相談を！」</p>
<p>離婚</p> <p>「親権や慰謝料・養育費のことで話がまとまりません」</p>	<p>企業法務など</p> <p>企業様には今後の安心のため 顧問契約(月額1万円～)を！</p>	<p style="font-size: large;">尾市法律事務所</p> <p>弁護士 尾市 淳二 (三重弁護士会所属)</p> <p>(財)日井連交通事故相談センター三重県支部相談員・鈴鹿市役所市民法律相談担当弁護士 詳しくは【尾市法律 検索】 四日市市浜田町5番27号第3加藤ビル5F (1Fにトヨタレンタカーが入ったビル)</p>	





本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■生活バス誕生のきっかけ

平成14年の2月に垂坂から近鉄四日市駅までのバス路線が廃止になると連絡を受け、自分たちで何とかしなければと思ったことが活動のきっかけです。車を運転できない人や高齢者などが、自由に買い物や病院に行くことができるようにするためのバスを走らせようと、情報収集し検討会を開催しました。しかし、乗客から集める運賃だけではとても運行できません。そのため、バス路線沿線の地域企業からの協賛金と、行政からの補助金、そしてバス事業者の低コストでの運行協力を得て、平成15年4月より「生活バスよっかいち」の運行が実現しました。

■地域貢献への思い

サラリーマン時代には、あまり地域のための活動をしてきませんでした。趣味を通じた友人は幅広くいました。だからこそ定年になったら地域のために働きたいという思いがあり、自治会長、そして民生委員や防災会会長、介護相談員など、いろいろなことをさせてもらいました。そのおかげで、生活バスを始めたときに多くの人に助けられました。自分にとってバスは初めての取り組みでしたが、運輸行政に詳しい人や、大学の先生など、専門の人を紹介していただき、構想を実現することができました。

また、バスがなければ生活できないという人たちの需要があるからこそ、生活バスを続けてこられました。地域にバスが走っているということが、周辺住民の安心につながっているという面もある



(バスから降りる乗客)

と思います。この活動を続けてきてうれしかったことは、乗ってくれるお客さんに「ありがとう」と言われることの一言に尽きますね。 ↗

■長く続けてこれた理由

生活バスよっかいちは、協賛金約5割、四日市市からの補助金約4割、運賃収入約1割で運行しています。運行開始以来、さまざまな企業などから協賛金をいただいています。(現在は5者：スーパーサンシ大矢知店、四日市羽津医療センター、守屋レディースクリニック、介護老人福祉施設ヴェイラ四日市、いとう整形外科クリニック)

令和3年3月には、「NPO法人生活バス四日市の協賛企業等への感謝状贈呈式」が開催され、森市長から、協賛企業などへ感謝状が贈呈されました。

このように生活バスよっかいちは、地域の企業などに支えていただき、長年にわたり運行することができています。



(感謝状贈呈式)

■生活バスよっかいちのこれから

このコロナ禍で、生活バスよっかいちも利用が減っていて、続けていくのも簡単ではありません。昨年からは、協賛企業の広告をバスの車体に掲示してラッピングバスにするなどの活動を始めました。

一方で、バスという公共交通機関はSDGs(持続可能な開発目標)の理念に即した移動手段だと考えています。

今後はそういった社会的意義も踏まえて、他地域でも必要とされている自主運行バスの支援体制の構築を、行政、地域企業そして住民に訴えかけていきたいです。



6月放送のCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

有料広告掲載欄



タンスの中に眠っていませんか?きもの買取・販売専門店



店頭で、出張もOK!
創業109年の歴史と実績!
毎日出張承ります!

着物買取

出張もお気軽にお電話ください!



西浦通り沿い

きもの屋小町 059-352-4253 ■四日市市鶴の森1丁目7-13 ■9:00~18:00(木曜定休)

扱ひ品目
きもの
帯・小物
長襦袢
貴金属
ジュエリー
陶器・掛軸
美術品
贈答品

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。